

令和7年度 柿木図書館及び周辺施設の更新等に関するワークショップ 参加者アンケートの結果

問1 年齢

20代以下	1
30代	1
40代	5
50代	5
60代	5
70代	3
80代以上	2
合計	22

問2 開催回数はどうでしたか

少ない	1
ちょうど良い	17
多い	3
未回答	1
合計	22

問3 1回あたりの時間はどうでしたか

短い	1
ちょうど良い	18
長い	3
合計	22

問4 グループワークの時間はどうでしたか

短い	5
ちょうど良い	14
長い	3
合計	22

問5 資料の量はどうでしたか

少ない	1
ちょうど良い	9
多い	12
合計	22

問6 グループに進行役として入った区職員は、参加者同士が自由に発言できる場づくりや、参加者への発言の促し、出された意見のまとめなどがしっかりとできていましたか

できていた	21
どちらでもない	1
できていなかった	0
合計	22

問7 ワークショップに参加して良かったと思いますか

良かった	14
どちらかという良かった	6
どちらでもない	2
どちらかという良くなかった	0
良くなかった	0
合計	22

自由記述の回答

問2 (開催回数はどうでしたか) その理由

個別の問題に対して、もう少し掘り下げた議論をしたかったです。
参加者の出席率の低減や区職員の負担増（休日出勤）を考慮するとこの程度が限界だと思います 個人的にはデザイン会議の様にテーマ部会等が出来ることより参加者の意見が出やすくなり対話の区政に繋がると思います
四半期ごとで進捗も確認しながら参加できました
「そういえばそろそろ次のワークショップの日だったな」と、忘れた頃に開催されるくらいだったので。
予定調整や、本件について地域からヒアリングを行って次回に活かすような挙動をとると、複数回が好ましく、なおかつ多過ぎないので負担が少なかった。
十分な時間が取られ、段階を追って議論をすることができ、様々な情報や意見を踏まえて自らの考えをまとめることができた。
同じ内容を何度も繰り返していたような感じがした。
これ以上多いと負担に感じそう
全3回くらいにしても良いかと思う
意見をまとめて提示していただくのに良いと思う。
2回目に施設見学もよく、参考になった
当初から「ワークショップの進め方」をしっかり考えて、その通りに進捗し、成果があったため。
短い期間で回数は4~5回で
少しずつ議論を深めることができました
十分に理解と議論ができた。

問3 (1回あたりの時間はどうでしたか) その理由

あまり長いと、参加できなくなる人が多くなると思います。
参加者は各々意見が有りお互いの立場を理解し活発な議論を交わし理解を深めるには少し時間が短いと思います 区職員の方々の休日出勤の手当が増える可能性がある（代休との選択肢をより選べるにしてあげてほしい）
2時間程度が適切と思いましたが、十分な情報提供やディスカッションができたので2時間半が結果として適切だったと再認識いたしました
「少し時間が足りないかな」くらいに感じたので、これ以上でも、これ以下でもないくらいでちょうどよかったです。
しっかりした資料を事前に配布しているので、同様の説明に時間をかける必要はなかったのではないかと？
お互いが時間を意識して臨むのにはちょうど良かった。
拘束されるというデメリットと、説明や議論に十分な時間が確保されるというメリットを考え合わせ、適当な時間であったと考える。
ただし、もう少しコンパクトでも良い。
最後の発表の時に、駆け足状態になってしまうことが多いように感じたが、それ以上長くても、まとまりがなくなってしまうから。
正午には終了したい
内容が濃いのであれ以上短縮は不可能だと思う

昼食に係るので、9:00～11:00 頃が良いと思います。
区の説明と、ワークショップの時間を考えるとバランスが良かった。意見はまだ出ていたが、どこかで時間を区切る必要があるため。
知識を入れてワークもできてちょうど良かったです。

問 4 (グループワークの時間はどうか) その理由

例えば、3つのことを1回のグループワークで行うのではなく、時間を短くして3回に分け、4回目に議論しつくしていないテーマに関して追加で議論するのがよいのではないかと思います。なぜなら、特定のことで盛り上がり、他のことの議論ができないことが何回かあったためです。それもよいことかもしれませんが。
せっかく関連部署の方々が来てくださっているのに質問等をするタイミングがほとんど無かった
話の長い方もいらっしゃるのでは。
短いと意見が出尽くさないし、これ以上長いと集中が持たないと思う。
若干、時間に追われたときもあったが、その回毎のゴールに到達するのに十分な時間であったと思う。
皆さんの意見は十分に聴取出来ている。
議題の内容にもよるが、もっと話し合ってみたかった時、あまり意見が出なかった時などあったが、平均してちょうど良いと思った。
全員発言することができる時間配分だと思う
考え、発表するのに丁度よい。
意見が出始めると足りなくなる
ちょっと短い。もっと話したいという時もありました。

問 5 (資料の量はどうか) その理由

コストについての資料がもう少し欲しかったです。
ワークショップ直前に届く資料を読み込むにはこれ以上の無理だと思います(ぎりぎりまで検討を重ね素晴らしい資料を作って頂いて感謝しています)
紙印刷など準備が大変だと思いますので、環境配慮などの名目で投影中心にしても良いかと思いました。一方でご高齢の方などには紙資料もニーズがあるかと思うので希望制にするなど配慮が必要になりそうですね…
膨大な内容を非常に簡潔にまとめてくださっていて、4回を通して保管しておけるくらいの量でした。
重複する部分が多いし、口頭で説明できることもある。字数が多すぎて内容が入ってこない。
もう少し簡潔になっていると、現状での内容が直ぐに理解しやすかった。
区の職員の方に頑張って戴き、議論するのに十分な資料が提供されたと思う。追加説明が必要だと思われるものは、追加で説明を求めることができた。事前に郵送して戴き、目を通し疑問点を頭に置いた上でワークショップに参加できたのもよかった。
たくさんの意見が出たものを、わかりやすく、丁寧にまとめて頂いた。誰が見てもわかる資料だと思う。
グループワークの時間内に内容を読み込めない
多いけど仕方がないと思う、必要量だった
よく整理され分かりやすかった。

事前に頭に入り切らない
とても丁寧な資料だった。
もう少し簡潔にまとめて欲しかった。
討論できる程度。今回多すぎ。
すばらしい資料をありがとうございます。

問 6 (グループに進行役として入った区職員は、参加者同士が自由に発言できる場づくりや、参加者への発言の促し、出された意見のまとめなどがしっかりとできていましたか) その理由

「そもそも…」という発言に対して、丁寧に説明をされていました。
参加者一人一人の意見を尊重してもらえたのがとても良かったです ワークショップの際参加者の質問等に丁寧に対応してもらえたのがとても印象的でした 事前に区役所に内容確認の為訪問した際ワークショップ担当者が親身になって対応していただいた事大変感謝しております (担当者不在時の対応もとても良いです)
1 班はとてもスムーズに進行いただき感謝しています
発言の少ない方に話を振ったり、複雑な質問にもすぐに回答をくださり、その知識量とそれを即座にまとめて発表する職員のみなさんには、感心するばかりでした。
活発な意見を遮らなかつたし、まとめるのが上手かった。
いろいろ発言させて頂いたので、皆が発言する機会は確保されていたと思います。
4 回のワークショップ全てにグループに 2 名の同じ方が進行役・補佐役として入られ、参加者が活発に議論する場を適切に作られ、議論が発散せず深められるように適切な促しや専門的な視点からの助言を行われ、また、出された意見を漏れなく付箋に記載したり、それらのポイントを的確に把握され、非常に要領よくまとめて発表されていた。非常に優秀な方々だったと感じ、ある意味で区の職員へのイメージが変わった。
大変困難なお仕事をされているように感じた。
常にみんなが意見を聞いて言っているか気を配ってくださっていた。また意見を上手く文章に出来なかった時でも、話しを聞きながらメモを取ってくださり、きれいにまとめても頂けた。
あまり思ったことを言えなく、申し訳なく思ったが、気持ちよく参加させてもらえた。
様々な意見をしっかりと汲み取り、反映して下さっていたと思います
100 点満点だったと思う
意見を整理したり、いろいろな考えを引き出すよう配慮されていた。
さすがによかった 発言を促し、意見まとめに補助してくれた
参加者の意見を否定しないように尊重し、グループ全体の意見が出やすい雰囲気をつくっていた。
ていねいにまとめていて上手だった。やさしさに乾杯！
いろんな視点を丁寧にまとめてくださいました。

問 7 (ワークショップに参加して良かったと思いますか) その理由

色々な立場の方の考え方や区の方針が良くわかった 今後の施設再編計画の際の参考になった
--

<p>杉並区が住民への説明や合意形成をととても丁寧に進めてくださることをあらためて認識でき、信頼を深める機会になりました。</p> <p>追加で高円寺図書館などの施設見学を取り入れてくださったことも大変有意義でした。</p> <p>自分が住んでいる街の今後について、当事者意識を持つことができたので参加してよかったです。</p>
<p>生活圏の区の施設に以前より興味が持てた。前向きな意見をたくさん聞くことができた。</p>
<p>日頃から地域活動を担う人々と、公的な場において話せたことは大きかった。参加者の多くは何らかの地域活動のハブ的な存在であるなど、偏った意見ではなく、様々な方々の意見、現状を踏まえた参加ができた。その点が良かった。</p>
<p>小学校時代に開設され、ある意味それにより育てて戴いた柿の木図書館、子ども2人、孫がお世話になり、また近い将来もう1人の孫がお世話になる予定の四宮保育園、現在、町会活動の拠点として日常的に利用させて戴いている四宮区民集会所の更新に関して、自らの思いを伝えられ、また、地域の他の方々がどのように考えていらっしゃるのかを知る機会が与えられ、非常に有意義だった。区の職員の方々が十分な準備をして戴き、毎回活発な議論が出来たことは有り難かった。</p>
<p>初めての経験だったから。</p>
<p>はじめは、面倒だし、自分の意見も上手く言えないし、第一、何を言っているのかすらわからず…まわりの人はしっかりした意見を言えるし、自己嫌悪しかなかった。ただ、違う幅広い世代の方々と話しができたことは、楽しくもあり、良い刺激になった。</p>
<p>貴重な情報、他の人の意見が聞けて良かった</p>
<p>今後の方針を知ることができた。</p>
<p>さまざまな方と交流できた</p>
<p>住んでいる地域の施設更新について、グループの皆さんと意見交換ができて、様々な立場で様々な意見の方がいることが分かったため。</p>
<p>いろんな方の思いが聞けて良かった</p>
<p>多様な世代の方と議論できました。</p>
<p>ソフト面の議論が同様にあると良いと思いました。</p>

問8 ワークショップに参加した感想や改善が必要だと感じたことがあればご記入ください

<p>箱を作るだけでなく、そこに至るまでのそれぞれの思いや価値観、地域に根差した歴史観等、多くの意見が聞けて有意義な時間を過ごすことができました。資料を作成して下さるのも大変だったことでしょうか。多くの人々の知恵と予算の上に素晴らしい建物ができることを楽しみにしております。新しい場所で笑顔の花が咲くことでしょうか。そしてみどり豊かな住まいのみやこ杉並になりますように！ありがとうございました。</p>
<p>行政から一方的に報告された経緯や結果を書面で読むだけでは、その結果に不満だけ持って終わりという場面も多いのですが、今回のワークショップに参加して詳細を知ること、今後、どの結果になったとしても納得ができるのではないかなと思います。そう言った意味で、今回のワークショップに参加してみて、大変良かったなと思います。</p>
<p>もっとたくさんの人にもワークショップに参加して欲しいと思った。良い施設に改築できるためにもっと協力したい。図書館も保育園とゆうゆう館も区民集会所も、かつてより、杉並区のより良い文化の発展のためにと想いを寄せて土地を手放して下さった地元の方に敬意を持つことも忘れてはいないだろうか？という気持ちになった。</p>
<p>ハード(施設設計)を中心に検討を進めていただいておりますが、ソフト(運営の工夫)をもう少し重点を多くご調整いただけたら良いと思いました。</p>

例えば子供の居場所設計は現状の施設の中で新たに利用時間帯を設けたり、保育園児と高齢者の交流は施設が隣接していなくても十分に行き来が可能と考えました。また区立保育園は公共的な設備ではありますが、安全面等から保育園関係者以外は立ち入りできない性質もあり、施設の立地や環境から利益を得られる区民は非常に限定的になる理解です。

図書館が今回検討している施設の中で最も多くの区民が利益享受できると思われ、あらためて場所変更せず引き続き現在の好立地を維持して、歴史も継承できるように配慮いただきたく存じます。

総じてですが事務局皆様の丁寧な対応にあらためて感謝しております。このたびの機会をありがとうございました。

その土地のあらましというか、古くからその地域の特性、使命を抱えた方々の思いや意見も、そっと明かされるなど、回を重ねるごとに、施設を更新するに際しての責任や意義が学べ、共有させて頂きました。こういったワークショップには、一部の人しか参加しないという批判もあるが、地域で長く活動をされている方々も多く参加されていて、その方々の、意見を代表しながら物事を進めていく様が、この様なワークショップと化学反応を起こしていたようだ。今後区長が変わることがあっても、こういったワークショップは継続してほしいと思います。

今回のワークショップが、結果ありきの会でないことを望みます。

住民の方々から意見は聞いたという事実を残すためだけに、これほどの時間をかけたことが、無駄になって欲しくはありません。まだ意見を言える場も設けるようですが。また、着工はまだまだ先のことのようにですが、この間にも、今回参加された職員の方々の中で、最後まで見届けることができる方は、何人ほどいらっしゃるのでしょうか？住民も転居する可能性があります、職員の方より移動は少ないはずですが。今回の職員の方々は、本当によくやってくれました。素晴らしい方々ばかりでした。ただ、住民と区の職員は、やはり立場は違うんですね。(いい意味でも悪い意味でも) どのように施設が変わるかわかりませんが、みんなが、楽しく使える施設が出来上がるとういと思います。このような経験をさせていただき、感謝いたします。ありがとうございました。

担当の職員の方がよく整理し、まとめてくださった。ありがとうございました。

年代のバランス。中年より上が大半だった。様々な世代の意見を聞いていくため、Q1の年代毎に均等だと最適と感じた。たいへん難しいとは思いますが。

多くの方の意見が聞けて良かった。

●たたき台3がよいと思うように誘導されているような感じがしました。たたき台3で決まっているような感じがして、非常に不快でした。コミュニティふらっと高円寺南と高円寺図書館が1つになった施設に見学に行きました。非常によい施設だと思いました。たたき台3は、このような施設ができるようなイメージを持った人が多かったですが、区の方がたたき台3の方が狭く、あのような施設はできないと言われていました。高円寺の施設は、地下1階、地上3階です。たたき台3の場所に同様の地下1階、地上3階の建物を作れるのでしょうか。高円寺の施設とはかけ離れた施設になるのではないのでしょうか。しかも、現状よりも狭い施設になるのではないのでしょうか。比較表の評価や説明も、「たたき台3は非常によい」、「たたき台3に悪いところはあるけれどもそれほどではない」という表現が目立ちます。実際、グループワークやその発表でも、それを否定する発言が出ていました。コストの表では、『※』にたたき台3に追加コストの説明がありますが、グラフには反映していません。地下1階、地上3階に準じた施設を作った場合、かなりの費用になるのではないのでしょうか。意図的に非常にコストがかからないように見せている感じがします。

●ゆうゆう四宮館改築中は周辺の施設を利用するとのことですが、いずれも高齢者にとっては遠く、行けない人が多いと思います。しかも、3年は長いです。ゆうゆう四宮館から井草地域区民センターまでは12分、八成区民集会所までは20分、ゆうゆう井草館

までは 24 分、ゆうゆう桃井館までは 18 分です(Google マップ調べ)。この時間は普通に歩ける人の時間なので、高齢者は 2 倍くらいかかるかもしれません。高齢者が行く気になるとは思えません。このことが全く議論されていません。また、現在、ゆうゆう四宮館で活動しているすべての団体が、これらの施設で活動できる空があるのでしょうか。ほとんどの団体は、活動終了になってしまうと思います。コロナ渦が落ち着いても活動を再開しない団体や全く来なくなった方達もいます。3 年は長いです。『遊び場 116 番』のように近くで活動できる場所を作ってください。人生長く生きてきて最後がこのような仕打ちでは、あまりにもかわいそうです。子供たちだけでなく、高齢者も途切れることなく活動できることを must で考えてください。

【たたき台 1 について】集会所をあえて今回改築しない事により四宮小学校や四宮森児童館の改築時にあわせ改めて活用方法の検討が出来るメリットもある。 ゆうゆう館改築時に四宮集会所を活用でき施設使用率の向上が見込まれる(高齢者にとって他施設に徒歩で行くのは大変)【たたき台 2 3 について】大前提としてゆうゆう館と集会所にするかコミュニティふらっとにするかは施設用途として異なる事をもう少し参加者に説明してもらえると参加者の理解がより深まったと思います 【その他】みどりの基本計画に基づく緑被率や緑視率の向上をお願いします 阿佐ヶ谷けやき公園のような屋上緑化や壁面緑化による二酸化炭素削減接道部緑化による熱中症対策等検討をお願いします 改めて保育園の仮園舎の場所の変更を求めます 騒音問題よりも踏切真横の仮園舎なので子供の飛び出しによる事故の可能性がより高くなると思います(近年もヒューマンエラーでの園児抜け出しが数件あったと認識しています) ゆうゆう館は老人福祉法に基づく施設であり集会施設とは本来施設の運営目的が違っていると認識しています(コミュニティふらっとにする事によって利用率向上やコスト削減になる事は充分理解しています) 今後高齢者のおひとり様の増加が予測されるなか 50 年後を見据えた際高齢者向けの施設があっても良いと思います(区内では子供の居場所は充実してきている) コミュニティふらっとは運営者によって施設運営がかなり違うと思います 今まで地域コミュニティの中心だった町内会や青少年育成委員会、区民センター協議会の支援協力が減る可能性がある(運営者が主体) 施設建替時には条例変更で高齢者は四宮森児童館の目的外利用の利用料金を無料にしてもらいたい ゆうゆう館と集会所を一体化した区内最初の新しい施設を作りたい(コミュニティふらっとではない) 図書館は基本無料の施設なので出来るだけ大きく多機能な施設を作りたい(区職員の腕の見せどころ) 旧若杉小学校のワークショップ等に参加もしましたが仮園舎整備に数億円かかるのも決定プランの一因と認識しているので仮園舎整備プランにはモヤモヤが残ります 仮園舎の候補地が現在の場所しかないのであれば改めて四宮小学校内への移転の検討をお願いします 児童館の移転ではなく将来的な学童クラブの校内移転(区の方針)を考えると保育園の仮園舎と活用しその後学童クラブとして本活用すれば無駄なコストも減ると思います(学校改築時まで待っていたら学童クラブ移転は何年先になるのか 四宮小学校のような敷地面積の広い小学校がやり始めなければどこの校長もやりたがらない可能性がより高まるかもしれない) 旧杉並中継所跡地に出来るアーバンスポーツ施設と何か連携したこれからの井草地域ならではの特色ある施設を作りたい(他区のように屋上でローラスケートや一輪車が無料で行える等) 利用率を上げる為には中高生から 20 代~30 代のグループ利用がしたくなる仕掛けが必要だと思います コミュニティふらっとを整備するならコミュニティふらっと東原やセシオン杉並のような乳幼児コーナーの整備を要望します(午後乳幼児のみが使える場所があると嬉しい) 条例変更や運営ルール変更で出来る事出来ない事が区民が知りたい事だと思う(今回のワークショップでは所管が施設マネジメント課だったのでハード面が中心の話合いになってしまいソフト面の話し合いまで深掘り出来なかった) 第 4 回ワークショップのまとめをホームページ上の公表だけでなく参加者へ郵送して頂けると助かります(郵送費なかなか予算つかないとは聞いていますが) ワークショップの参加者の思いもあります区民は約 58 万います区民全員の意見を聞く事は物理的に無理ですが数回のオープンハウス開催や区民センター

等のイベント時や駅前でのアンケート調査等幅広い様々な区民の声を拾って施設整備の参考にして下さい（ワークショップ参加者の意見が重要視されすぎない様に）今まで施設を使っていない人達へのアプローチに関する話し合いがほとんど出来なかった様に思います 保育園を除く不特定多数が来る施設（図書館 ゆうゆう館 コミュニティふらっと 集会所 児童館等）のさざんかねっと利用率向上や一般来館者利用向上を図る為のワークショップやオープンハウスを令和8年度中に行なって欲しい（予算ついてないとは思いますが岸本聡子区政対話の区政の集大成に必ず行なってもらいたい）行政7地域にこだわらず区内施設をバランス良く整備して欲しい

【まとめ】ワークショップ参加者の数名の方がおっしゃっていましたが様々な立場の方が様々な意見を出しました自分の考え方や理想と違っても区が決定した案には賛成します 決まった案を区民と行政が一体となってブラッシュアップできれば更に良いと思います 最期に施設マネジメント課の皆様へ感謝を申し上げます 部課長の方々も区民目線で話を聞いて頂き正直びっくりしています（今までの行政対応ではありえませんでした）その姿を見てなのか部下の方々の対応もとても素晴らしいと感じました これからも色々勉強させて頂きます いつもながら誤字脱字は意味をくみ取って頂き訂正お願いします

繰り返しになるが、本ワークショップに関わられた区の職員の方々は非常に優秀な方々だと感じられた。その意味で、ファシリテータの方が必要だったのかと思う。ファシリテータの方がいらっしゃらなくても、十分にワークショップの運営が可能であったのではないか。また、多くの職員の方々を肯定的に評価させて戴く中で、議論の方向を特定の方向に促していると想像される発言をされた方や、地域住民や利用者の切実な思いを軽視し、通り一遍の回答をされていると思われるような方がいらっしゃったのは残念だった。

お茶は、ペットボトルで蓋つきが良いです

区の資源にプラスして取り込み可能な資源、例えば土地、建物、人材も範囲外の活用も必要と思った